

諏訪湖クリーンプロジェクト

2022年度の取組み





諏訪湖クリーンプロジェクトとは

- 諏訪湖を区画分け

6エリアを約190m²(約57坪)毎に区画分けをします。
全1,034区画。出資者様の名称を記載。

- 1年間 清掃・美化活動

カヤックやボートを使用し、お選び頂いた区画のゴミや菱(水草)の除去作業を1年間行います。

- 活動の報告・広報

SNSやメール等で活動の報告を行います。



2022年度 ご支援実績

① 支援区画数 ・ ・ ・ 266区画

② 菱の除去 ・ ・ ・ 約80t

③ ゴミの回収 ・ ・ ・ 約200kg

2022年度 ご協賛法人様

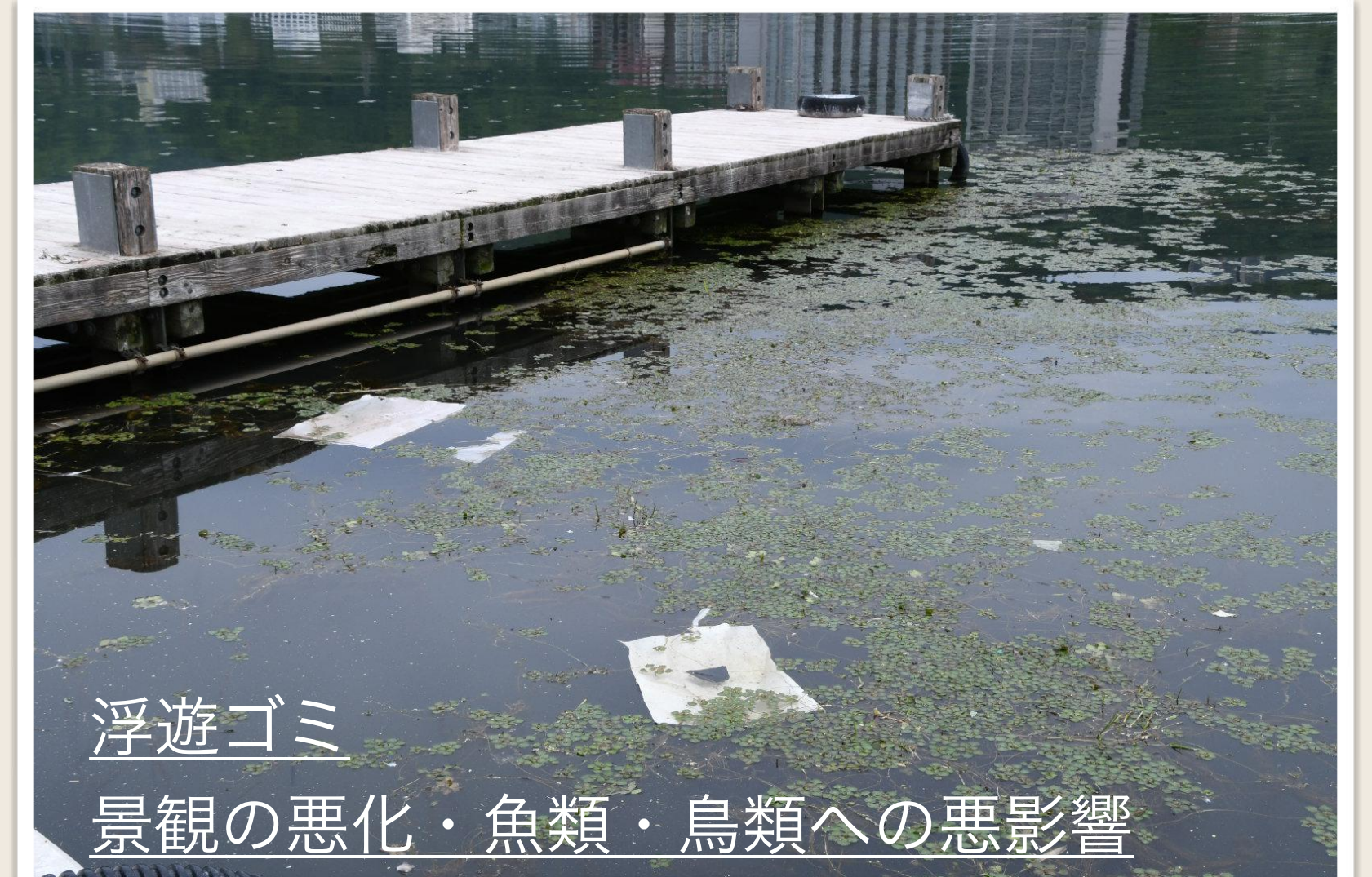
法人・団体協賛

- ・ 株式会社信州タケエイ
- ・ 合資会社親湯温泉
- ・ かたからシルクホテル
- ・ ホテル鷺乃湯
- ・ 株式会社キッツ
- ・ 有限会社竹伝
- ・ 株式会社ホテル紅や
- ・ RAKO華乃井ホテル
- ・ 諏訪湖温泉旅館協同組合
- ・ 株式会社八十二銀行 諏訪支店
- ・ 長野県YCE-OB会
- ・ 株式会社両角佛壇
- ・ 富士コムテック株式会社
- ・ 株式会社アトリエ茅野
- ・ シールペイント株式会社
- ・ 株式会社メカ・エンジ
- ・ 株式会社東栄興業
- ・ 株式会社キャドソン
- ・ 有限会社ナガタメディカルサービス
- ・ 有限会社米屋金物店
- ・ 株式会社アクト
- ・ 株式会社テンハウ・フーズ
- ・ 諏訪大社ロータリークラブ
- ・ 野村ユニソングループ
- ・ 諏訪湖クラブ
- ・ 諏訪湖ライオンズクラブ

合計187区画

敬称略

諏訪湖の現状・課題



私たちが行う課題への解決策

和船を使用した菱除去



湖中の栄養を吸収した菱を除去することで、諏訪湖の富栄養化を抑制し水質改善につながります。

カヤックを使用したゴミ拾い



浅く、狭い地形でも入れるカヤックでゴミを回収。排気ガス0で環境に優しく、楽しみながらゴミを回収できます。

2022年度 菱除去への取り組み



プロジェクト開始時は、有刺鉄線を巻いた鉄の棒を湖中に沈め、引きずることで菱を除去。
和船に回収し湖岸まで引き上げ、乾燥させて運搬を行いました。

2022年度 菱除去への取り組み



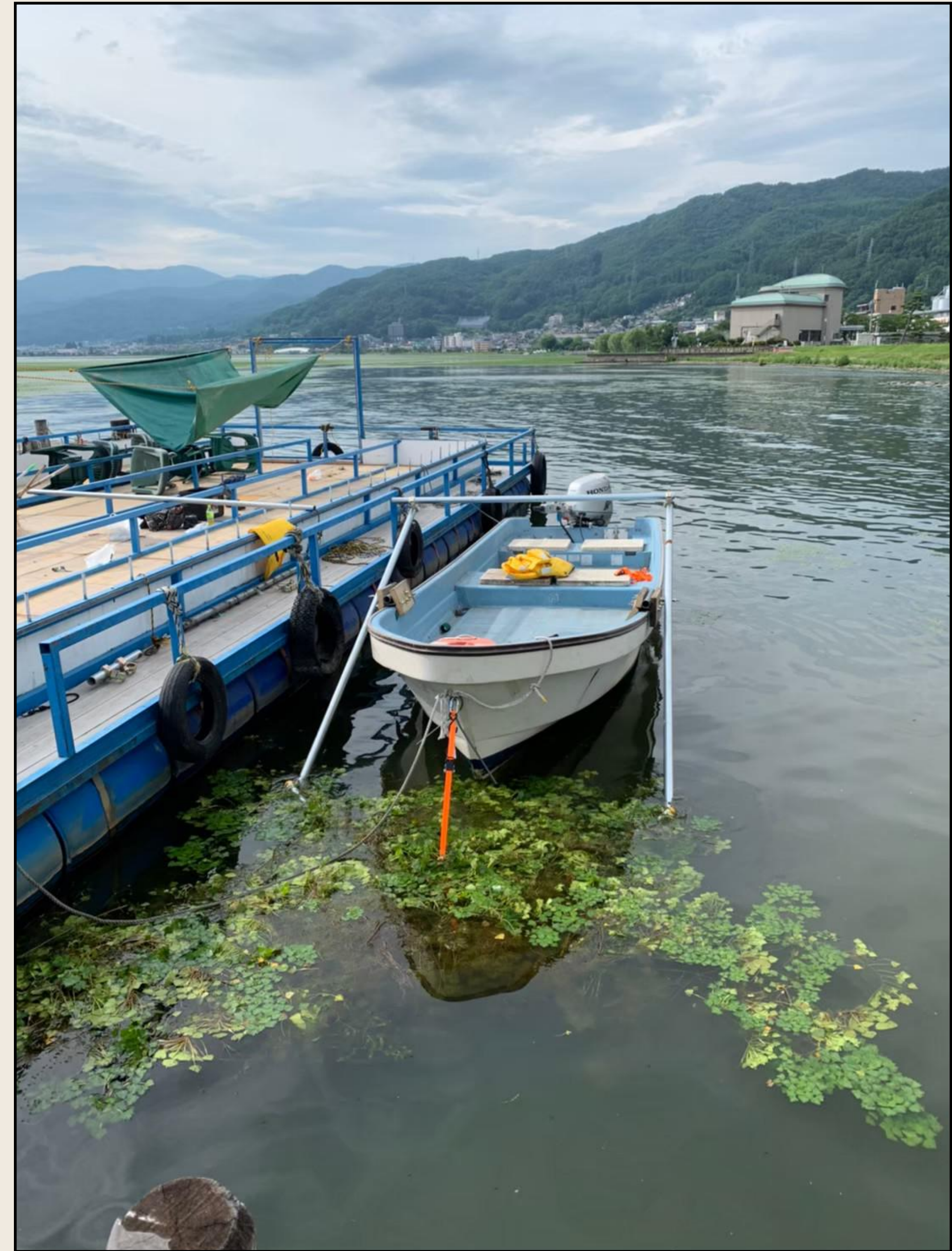
一定の効果は得られたものの、時間と体力を非常に使う除去方法でした。

2022年度 菱除去への取り組み



そこで、ブルドーザーのように菱を除去してそのまま岸に運べる方法を試行錯誤

2022年度 菱除去への取り組み



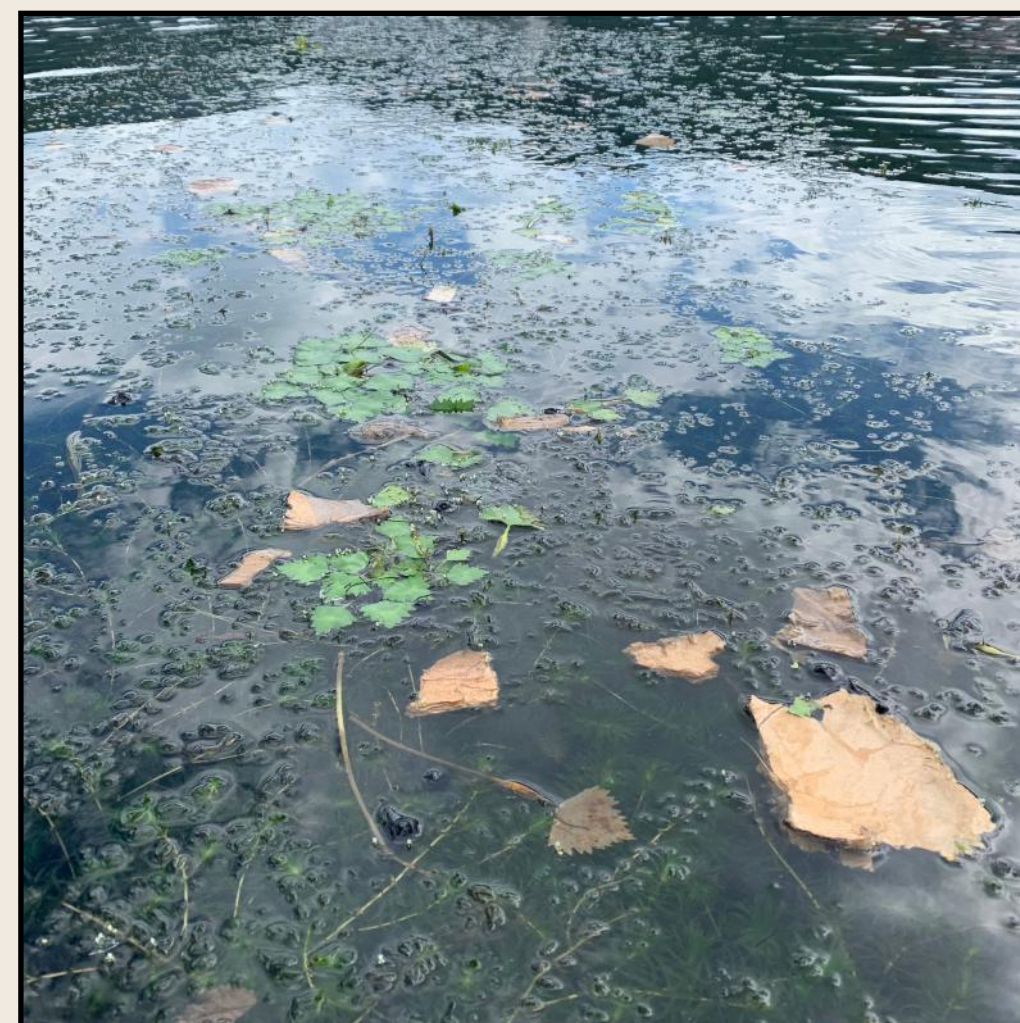
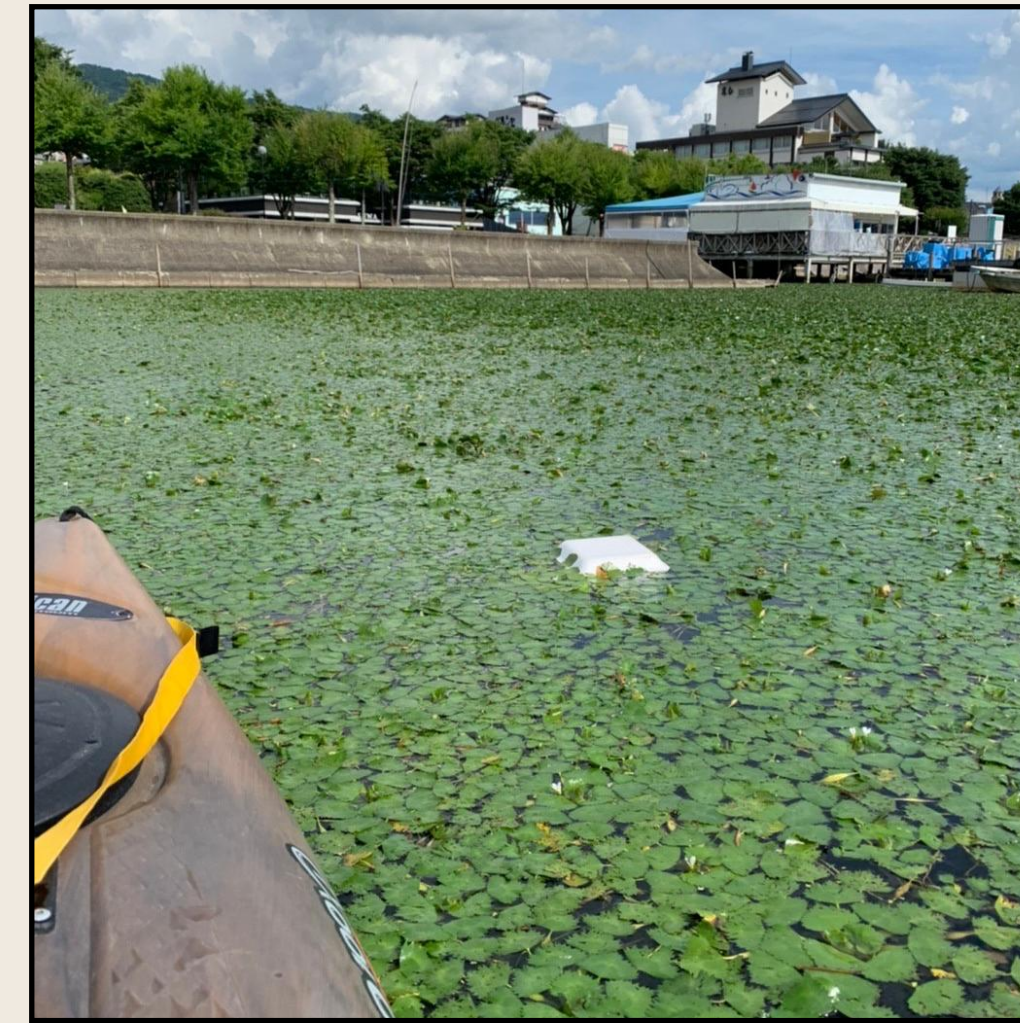
脱着可能な可動式の菱刈装置を自主制作しました。

2022年度 菱除去への取り組み



従来の方法よりも効率的かつ綺麗に菱を除去することが可能になりました。

2022年度 浮遊ゴミへの取り組み



4月～11月はカヤックを使用し湖上のゴミを回収。12月～3月は湖岸の漂着ゴミを回収

協賛をいただいている法人・個人の皆様との合同清掃も行いました。

2022年度メディア露出

2022年10月18日 「信州タケエイ様との支援区画及び湖岸の合同清掃」

諏訪の会社湖畔で美化活動
信州タケエイとアポルタが協力

産業廃棄物処理などの信州タケエイ（諏訪市）は18日、諏訪湖でカヤックツアーを行うアポルタ合同会社（同）とともに湖畔の美化活動を行った。社員約20人が参加し、ビール片やペットボトルなどのごみを集めた。

信州タケエイは昨年度から、諏訪湖や周辺河川などで環境美化に当たる「アダプトプログラム」に参加。今年からはアポルタが湖をきれいに保つ「諏訪湖クリーンプロジェクト」にも資金を提供していることから、合同の清掃活動を企画した。

参加者は湖畔の野外音楽堂から衣之渡川付近で1時間ほど作業した。信州タケエイ管理部の杉村篤部長（49）は「仕事柄もあり、美化活動を通じて地域の環境維持に協力していきたい」。アポルタの小山友旗さん（26）は「諏訪湖の現状を知ってもらおう機会になる」と話していた。

参加者
諏訪湖畔でゴミ拾いをする

2022年10月20日 信濃毎日新聞様

「(株)キッツ様との合同清掃」

茅野に工場のキッツ流入の川を清掃
新入社員 小舟で諏訪湖きれいに

茅野市と伊那市に工場があるバルブ製造大手キッツ（千葉市）の新入社員が16日、カヤックに乗って、諏訪湖に流入する諏訪市の衣之渡川でゴミ拾いを行った。企業の資金提供で湖をきれいに保つ「諏訪湖クリーンプロジェクト」に同社が協賛していることから企画。SDGs（持続可能な開発目標）への関心も高めつつ、慣れない水上からビール袋やプラスチック容器などを楽しみながら拾った。

43人の新入社員の内、希望 さん24は「思った以上にこまが浮かんでいて、ゴミ捨てに気を付けようと思った」と話していた。

諏訪湖でカヤックツアーを展開し、プロジェクトの協賛金で湖畔の清掃をしているアポルタ合同会社が、この日のカヤックを提供。同社代表の井川竜太さん（29）は「研修は初めての試みだったが、自然と会話やチームワークが生まれる場面もみられた」と手応えを感じていた。

カヤックに乗ってゴミを拾う新入社員たち

2022年4月17日 信濃毎日新聞様

2022年度メディア露出

2022年10月16日 「諏訪市主催 ボランティアの皆様とカヤックでゴミ拾い」

仏教が入れなかつたのは、一方、鹿をささげる御頭祭では神宮寺の僧侶と諏訪神社の神官が一体的に活動した記録があり、諏訪の個性といえる」と話した。

シンポジウムは約150年ぶりに神職と僧侶が諏訪大社上社本宮で祈りをささげ、諏訪地方の25寺社、諏訪市博物館、下諏訪町立諏訪湖博物館で神宮寺由来の仏像や寺宝を一斉公開する「諏訪神仏プロ



カヤックで湖上のごみ拾いに繰り出す参加者

カヤック乗りごみ拾い

諏訪市 諏訪湖上でボラ活動

カヤックに乗って諏訪湖上のごみを回収するボランティア活動が16日、諏訪市のヨットハーバー周辺で行われた。今年1日の「諏訪湖の日」にちなんで諏訪市が初めて開いた。小学3年〜一般の32人が参加し、カヤックの操作を楽

ストップ・ザ・交通事故 県内			
10月15日の事	今年10月15日の発生	今年累計	前年同期比
発生	11件	3,599件	+11件
死亡	0人	40人	+10人
負傷	14人	4,288人	-18人

しみながら作業。環境美化への理解を深めた。

諏訪湖浄化のボランティアの裾野を広げようと企画。初めてカヤックに乗る人も多く、ヨットハーバーを起点に上川、中門川の河口付近まで湖上を移動して、浮遊するごみを拾った。

出発時は思う方向にへさがが向かず、四苦八苦しながらも「楽しい」と小学生たち。こぎ方の要領をつかむと、巧みにオールを操って作業をしていた。

市環境課環境係は「岸から見るとごみが多いことも知ってもらいたい。今後のボランティア活動への参加のきっかけになれば」と期待を込めていた。



波状線

◆：諏訪地域の労働組合53単組、約6800人が加盟する連合長野諏訪地域協議会は15日朝、下諏訪町南高木にある同会事務局周辺の諏訪湖畔で清掃奉仕を行った。写真は、各団体から約80人が参加。県道岡谷下諏訪線高浜交差点付近から諏訪市境までの湖畔を歩き、湖岸に打ち上げられたごみや歩道脇の植え込みで捨てられたごみを拾った。

◆：地域貢献を目的に20年以上前から行っている恒例の活動。毎年5、8、10月の年3回実施していたが、コロナ下となつてからは年1回としていた。参加者はトングとごみ袋を手に、事務局前から2手に分かれて歩きながら、ペットボトルや空き缶、プラスチックごみなどを丁寧に拾い集めた。

◆：小平健一議長(60)は「組合員だけでなくその家族も参加してくれてありがたい。少しでも諏訪湖がきれいになり、諏訪地域の観光に役立てばうれしい」と話した。(山本雄太)

が6日、自分たちで考案した「みそだれ」のアイデアを、諏訪地域の食料品店に提案し、諏訪の子供たちに提供することを目標としている。

みそだれを考案する

「みそだれ」は、諏訪地域で普及を目標としている。「みそだれ」のアイデアを、諏訪の子供たちに提供することを目標としている。

「みそだれ」は、諏訪地域で普及を目標としている。「みそだれ」のアイデアを、諏訪の子供たちに提供することを目標としている。



痴漢・盗撮の撲滅 書道で呼びかけ

上諏訪駅で松本蟻ヶ崎高生

松本市の松本蟻ヶ崎高生が、痴漢・盗撮被害の撲滅を呼びかける書道作品を、諏訪市のJR上諏訪駅に掲げた。真鍮鉄道警察隊の依頼で、2年生の百瀬叶さん(17)と横水さん(17)らが制作。縦1.5尺、横3尺の大きさ

諏訪湖でカヤックツアーを行うアボルタ合同会社(諏訪市)が今春始めた、湖をきれいに保つ「諏訪湖クリーンプロジェクト」への企業や個人の申し込みが好調だ。

沿岸を約15区画に区切り、浮葉植物(ヒシやヒシヤゴ)の除去なども

除去します カヤックツアー会社の事業申し込み好調

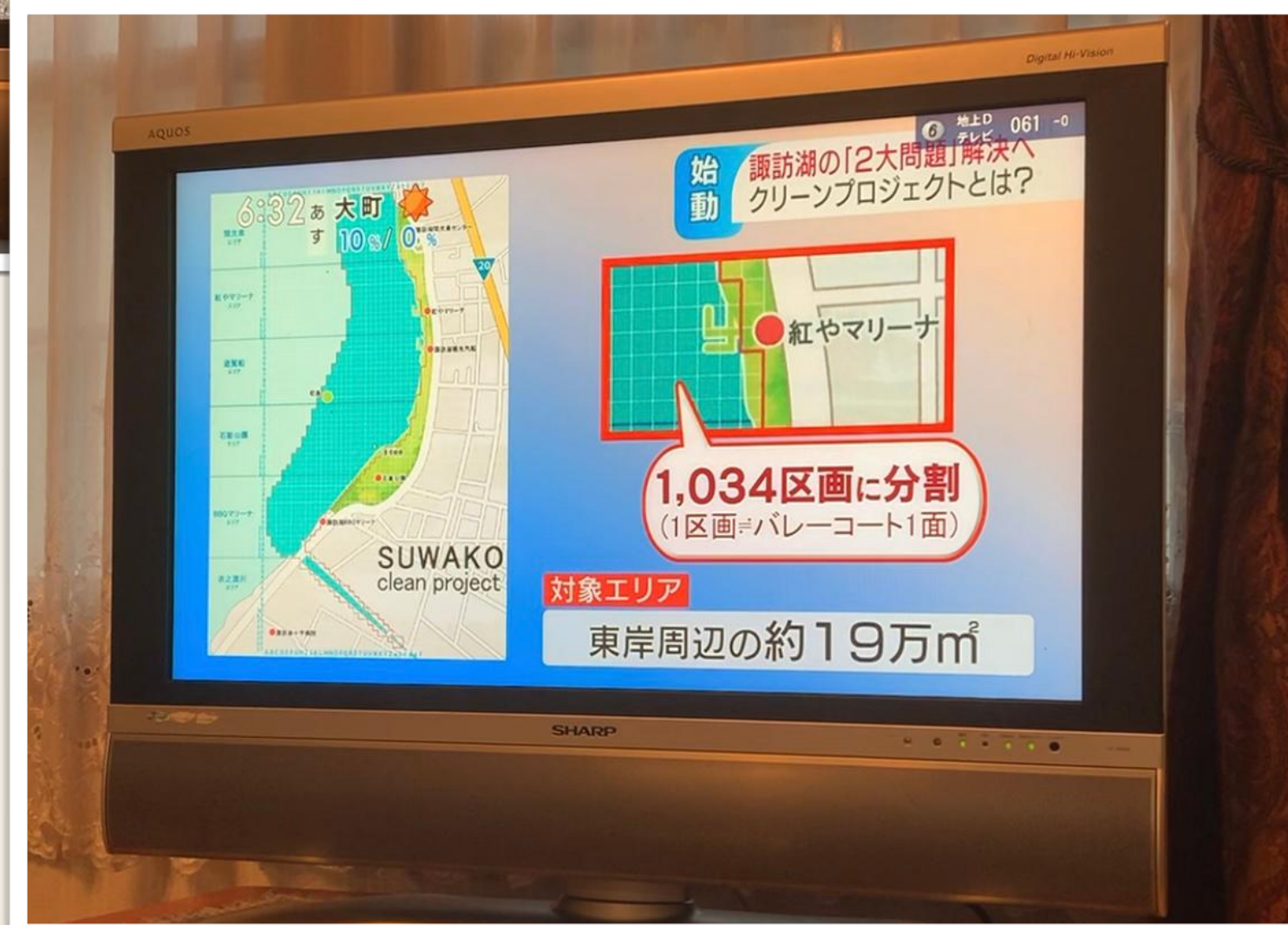
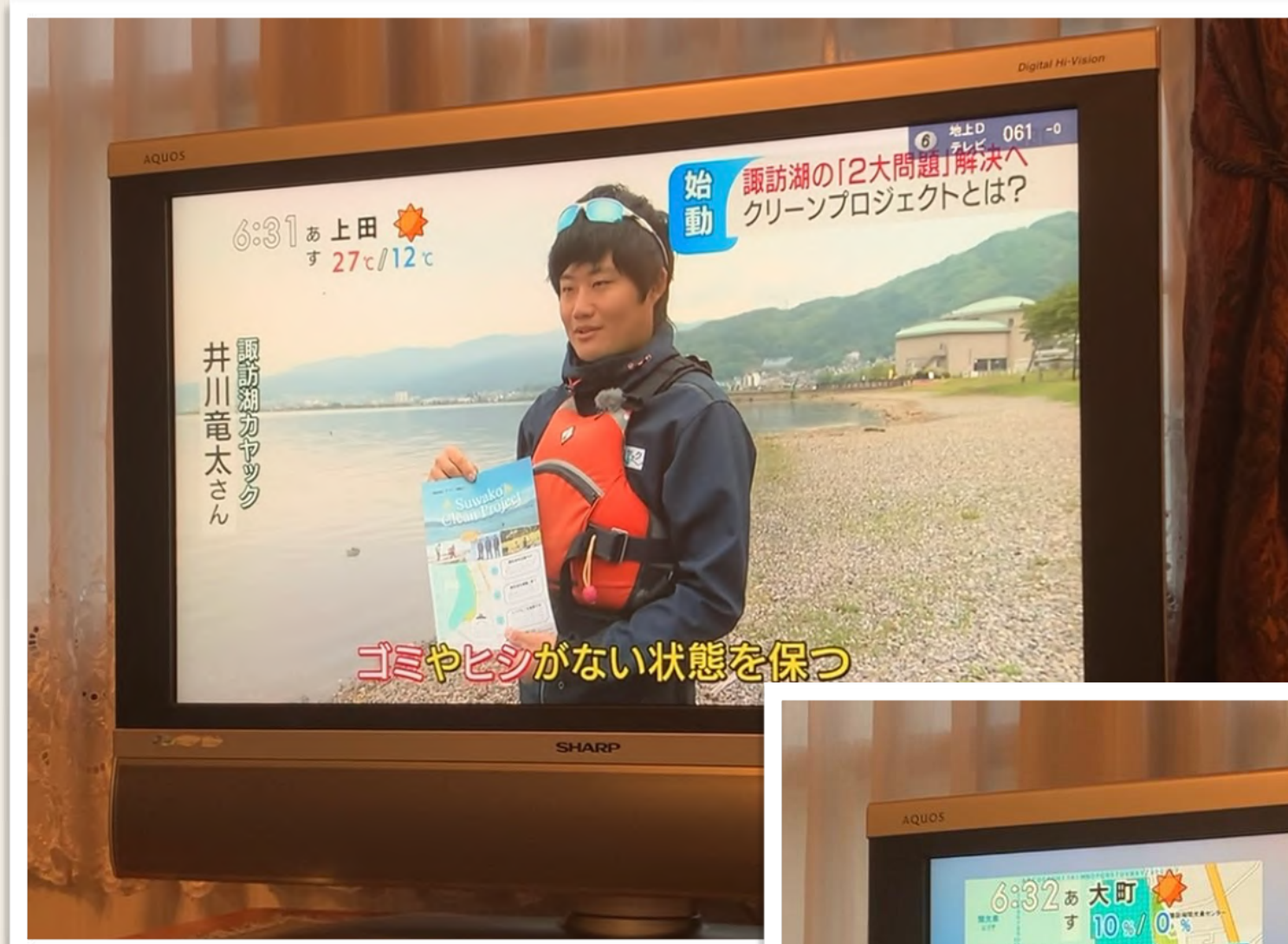
諏訪湖でカヤックツアーを行うアボルタ合同会社(諏訪市)が今春始めた、湖をきれいに保つ「諏訪湖クリーンプロジェクト」への企業や個人の申し込みが好調だ。

沿岸を約15区画に区切り、浮葉植物(ヒシやヒシヤゴ)の除去なども

現在、46の旅館・ホテル、企業、銀行、一般市民が依頼。同社では美化作業にカヤックを利用する他、ヒシを除去する自作の機械を取り付けたボートで、ツアーの合間などにほぼ毎日作業している。代表の井川章太さん(30)は「活動の広がりで見聞を良くし、きれいな諏訪湖を子孫に残したい」と話している。

2022年度メディア露出

「SBCニュースワイド」での特集



2022年5月27日 SBC信越放送様

「24時間テレビ45」

マンモウ飯田さんとモーニング娘。羽賀朱音さんとゴミ拾い



2022年8月27日 テレビ信州様

綺麗な諏訪湖を未来に繋ぐ

